

「夢のあるまち、また訪れたいまちNo.1」

近江八幡市総合政策部文化観光課
課付課長 川嶋嘉治

近江八幡市観光ボランティアガイド協会の皆様におかれましては、郷土愛とボランティア精神のもと、日々のガイド業務に精励され、また、「近江八幡ふるさと観光塾」を開講されるなど、本市の観光振興に多大なるお力添えをいただいておりますことに、深く感謝の意を表します。

皆様ご承知のとおり本市を訪れていただく観光客数は年々増加し、昨年は540万人を突破し、全国から多くの皆様にお越しいただいております。さらに、今年度は来年1月より戦国時代を舞台とした大河ドラマ「麒麟がくる」の放映が予定されております。全国屈指の戦国ゆかりの地である本市としましては、絶好の機会と捉える共に、先人たちから受け継いできた自然、歴史、文化的資源を地域の宝として大切に磨き、最大限に活用した観光振興を進めていきたいと考えております。

観光ボランティアガイド協会の皆様は、まさに近江八幡と来訪者を結ぶ架け橋的存在です。国内外からお越しの来訪者に本市の素晴らしさを十分に感じ取っていただき、旅の良き思い出づくりとなるガイド活動を展開していただきますと共に、魅力ある「観光まちづくり」の実現に向け、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

「2019年度を迎えるにあたって」

近江八幡観光物産協会 会長 森嶋篤雄

平素は近江八幡観光物産協会に格段のご支援とご協力を賜り誠に有難うございます。心より厚く御礼申し上げます。

気にしております10連休も、概ね良い天気恵まれ、無事に終えることが出来たと感謝しております。さて、平成の世から令和の時代を迎えました。この30年の間に、観光振興の必要性や重要性について社会的な認知は随分と高まりました。

また、電子メディア等の普及で観光のあり方が大きく変化した時代でもありました。これからも、今からは予想できない変化や進歩があり続けることと思われまふ。片手でボタン一つ押せば商品や情報が得られる時代になってはいますが、観光の本質は、自らの五感で体感し心が動くことにあると思います。

例え機械のように正確ではなくとも、人から人に伝えることや学ぶことは何事にも代えがたい元気の源であり、人間としての喜びでもあります。

観光ボランティアガイド協会の皆さんの業務は、一度に大量にという便利さとは真逆にある一方、安全で限られた時間の中に、旅の大切な要素を沢山有しておられます。

全国でも多数ある組織の中でも、安定的かつ進歩的に組織運営をなされておられますことは、地域の観光振興にとりまして、大きな資源であり資産であると認識しております。

観光は様々な要素を必要とし、程よく融合させることで素晴らしいものを提供して頂けます。引続き、貴協会と当協会との関係をさらに深めながら「車の両輪の如く」、地道に一步步前へ前へと進み、新しい時代の近江八幡観光を発展させるために頑張ってくださいませ！

結びになりますが、貴協会様の益々のご発展と会員の皆さまの尚一層のご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げます。

淡海観光ボランティアガイド連絡協議会「東近江ブロック交流研修会」が当協会主催で実施されました

東近江ブロック交流研修会に参加して

広報宣伝部 吉田輝雄

三月二十日絶好の良い天気恵まれ、東近江ブロック交流研修会が開催されました。我々広報宣伝部は駐車場担当と文化会館舞台準備担当として参加しました。小幡駐車場では、「おはようございます」、「お世話になります」、「今日はよろしくお願ひします」、「朝早くからご苦勞様です」、「おいでいただきありがとうございます」等の挨拶が元気に交わされました。

皆さん素晴らしい笑顔で、今日の交流研修会の期待の大きさを感じました。これで交流研修会が成功裏のうちに行われると信じてことができました。

五つのコースをめぐり研修していただき、昼食をとりながら分科会が行われ活発な意見が飛び交ったということです。

午後、文化会館で式典が行われ、会長のあいさつや小西市長の祝辞もあり大いに盛り上がりました。

さらに分科会で話し合われた内容が各コースの責任者から発表され、その内容の濃さに驚くとともに、東近江ブロックの今後のガイドの大きな一助になったことは疑う余地はありません。

会長を始め、スタッフ全員の用意周到な準備で心こもったおもてなしをすることにより、東近江ブロック交流研修会は大成功で終わることができました。